

公益社団法人日本造園学会関東支部 平成 24 年度支部総会議案書

日時：平成 25 年 4 月 25 日（木） 19 時 0 分～

於：造園会館8階 会議室

総会次第

■ 開会

■ 支部長挨拶

■ 審議事項

1. 第 1 号議案 平成 24 年度事業報告
2. 第 2 号議案 平成 24 年度会計報告
3. 第 3 号議案 平成 25 年度事業計画（案）
4. 第 4 号議案 平成 25 年度収支予算（案）
5. 第 5 号議案 支部運営規則の制定

■ 報告事項

1. 支部役員の役職変更

■ 閉会

■ 審議事項

1. 第1号議案 平成24年度事業報告

(1) 支部大会の開催および事例・研究報告集(第30号)の発行

・平成24年11月23日(金)、24日(土)筑波大学筑波キャンパス体育・芸術エリア、筑波研究学園都市、筑波山梅林、つくば市北条地区にて実施

(2) 学生デザインワークショップの実施

・平成24年6月から平成25年3月にかけて、東京農業大学、福島県石川町などで実施

・平成24年度支部大会にて報告会を開催

(3) 地域固有の造園遺産の発見と育成

・造園遺産インベントリーづくりのための見学会の実施(筑波研究学園都市、筑波山梅林、つくば市北条地区など)とインベントリーの更新

(4) 学会支部の相互連携と異業種間交流

・学生デザインワークショップを東北・関西の各支部と連携して運営

(5) 支部創立30周年記念事業の準備

・平成24年12月20日に事業打ち合わせ会を実施し、事業案を検討

(6) 部会活動の実施

・施工技術部会：平成24年11月30日に常盤橋門跡石積み修復工事、平成25年1月12日に(仮称)世田谷区立二子玉川公園内日本庭園、平成25年2月15日に首都高速道路大橋ジャンクション屋上庭園の各工事の現場見学会(支部例会)を実施

・(仮)教育部会・(仮)デザイン部会：平成25年3月17日に日比谷ランドスケープデザイン展2013-卒業制作・修士制作展-講評会(支部例会)を実施

(7) その他

・支部運営規則の改定

・幹事会開催6回

2. 第2号議案 平成24年度会計報告

日本造園学会関東支部 平成24年度会計報告
(2012年4月1日～2013年3月31日)

■収入の部

項目	予算額	決算額
大会費 ※1	350,000	689,500
①発表登録料	(120,000)	(223,000)
②大会参加費	(230,000)	(463,500)
④要旨集販売	-	(3,000)
学生DWS参加費	120,000	0
見学会参加費	30,000	18,500
学会本部助成金	300,000	300,000
前年度繰越金	2,326,118	2,326,118
預金利息	-	282
計	3,126,118	3,334,400

■支出の部

項目	予算額	決算額
大会費 ※2	350,000	688,008
①大会運営費	(150,000)	(415,533)
②報告集印刷	(200,000)	(272,475)
支部テーマ事業費	720,000	921,932
①学生DWS	(300,000)	(422,982)
②造園遺産イベントリーづくり	(220,000)	(0)
③新規部会活動費	(200,000)	(498,950)
学生DWS記念誌作成費	100,000	0
支部30周年記念事業積立費	1,000,000	1,000,000
ホームページ管理費	50,000	0
事務費	50,000	67,154
支払い手数料	-	3,465
積立費 ※3	856,118	653,841
計	3,126,118	3,334,400

※1 平成24年度予算計画における交流会費分を除く。

※2 平成24年度予算計画における交流会費分を除く。

※3 積立費は次年度に繰り越し。

平成24年度会計収支について、関係書類とともにその内容を監査した結果、適正であることを認めます。

平成24年4月18日

監事

内藤 英四郎



監事

葉山 嘉一



3. 第3号議案 平成25年度事業計画（案）

区分 1	項目 番号	項目	具体的内容	事業区分との対応 2					新定款第4条各号との対応 3								
				調査 研究	出版	講習 研修	専門 教育	表彰	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
通常 業務		支部大会の開催 (10月または11月)	支部大会の開催および事例・研究 報告集(31号)の発行(200部程 度)														
		学生デザインワークショッ プの開催	学生デザインワークショップの開催 と支部大会などでの成果発表														
		地域固有の造園遺産の発 見と育成	造園遺産インベントリー作成に関 する調査・見学会実施など														
		学会支部の相互連携と異 業種間交流	事例・研究報告集の送付、支部間 や地域活動との連携によるワー クショップなど														
		支部創立30周年記念事業	記念出版、シンポジウム等の実施														
		部会活動の実施	見学会、講習会等による会員間 の交流														

- 1 「通常業務」は毎年度定期的に実施している業務。「新規業務」は次年度新たに取り組む業務。
- 2 事業区分との対応については、該当する欄に 印を付けて下さい。区分については別添ファイル「参考資料_事業区分.pdf」をご参照下さい。
- 3 新定款第4条各号との対応についても、該当する欄に 印を付ける。なお、各号とは以下のとおり。(1)研究発表会、講演会、講習会、見学会および展覧会等の実施、(2)機関誌および図書の発行、(3)調査および研究、(4)学術および技術に係わる専門教育とその評価、(5)関連諸団体との連絡および提携、(6)業績および功労の表彰ならびに奨励および援助、(7)普及、啓発および提言、(8)その他本会の目的を達成するために必要な事業

4. 第4号議案 平成25年度収支予算(案)

項目番号 1	区分 2	費目 3	予算額(円)	積算基礎・根拠 4
	収入	大会費	670,000円	発表登録料:3,000円/件×70件=210,000円 支部大会への参加費:460,000円 会員3,000円/人×100人=300,000円 非会員4,000円/人×10人=40,000円 学生1,500円/人×80=120,000円
	収入	学生デザインワークショップ	120,000円	3,000円/人×40人
	収入	見学会参加費	20,000円	500円/人×40人
	収入	学会本部助成金	300,000円	
	収入	補助金	700,000円	デザインワークショップ実施にあたっての石川町からの助成。
	収入	前年度繰り越し金	1,653,841円	
	支出	大会費	430,000円	大会運営費:230,000円 施設使用料:50,000円 送料:30,000円 謝金:10,000円/人×2人=20,000円 アルバイト代:8000円/人×10人=80,000円 学生作品表彰:30,000円 研究発表表彰:20,000円 報告集印刷:200,000円
	支出	支部テーマ事業費	1,600,000円	学生デザインワークショップ:1,000,000円 チューター謝金:10,000円/人×10人=100,000円 報告書印刷費:200,000円 旅費(合宿、報告会):575,000円 報告会開催事務費(広報、搬送代等):65,000円 材料費:10,000円/チーム×6チーム=60,000円 造園遺産インベントリーづくり:220,000円 謝金:10,000円/人×3人=30,000円 現地記録交通費:5,000円×30件=150,000円 作業および会議費用:40,000円 ランドスケープ遺産作業費(印刷費、消耗品費):30,000円 部会活動費:380,000円 見学会・セミナー等講師謝金: 20,000円/人×3人×4回=240,000円 役員スタッフ交通費:5,000円/人×3人×6回=90,000円 資料印刷費:50,000円
	支出	学生デザインワークショップ記念誌作成費	100,000円	作業費:50,000円 印刷費:50,000円
	支出	支部30周年記念事業	900,000円	記念出版費用:700,000円 印刷費:500,000円 原稿料(非学会員):20,000円/人×5人=100,000円 送料:100,000円 シンポジウム開催費用:200,000円 会場使用料:50,000円 登壇者謝金:20,000円/人×5人=100,000円 役員スタッフ交通費:5,000円/人×10人=50,000円
	支出	ホームページ管理費	50,000円	外部制作委託費
~	支出	事務費	50,000円	消耗品費:20,000円 印刷費:30,000円
	支出	積立費	333,841円	

5. 第5号議案 支部運営規則の制定

公益社団法人日本造園学会 関東支部運営規則（案）

第1条（名称）

この支部は公益社団法人日本造園学会関東支部（以下「支部」という。）という。

第2条（構成）

この支部は公益社団法人日本造園学会（以下「学会」という）の、学会運営に関する規定（以下「学会運営規程」という）第11条および同第17条の規定に基づいて構成する。

第3条（事務局）

この支部の事務局は東京農業大学地域環境科学部造園科学科内におく。

第4条（目的・事業）

この支部は、学会の支部規程（以下「支部規程」という）第2条に規定する目的及び事業に準じて事業を行う。

第5条（部会）

第4条の事業を行うにあたり、各種部会を設置することができる。

第6条（支部運営委員会の構成）

支部運営委員会は、支部規程第6条の規定に基づいて構成し、構成員は次の通りとする。

支部長 1名

副支部長 若干名

会計担当委員 1名

委員 30名以内

- 2 支部長は支部規程第4条第2項および同第8条第1項の規定に基づいて選任する。
- 3 支部長は、学術、行政、民間の分野の均衡を考慮して副支部長を選任する。
- 4 支部長は、原則として支部に属する会員への公募を行い、かつ学術、行政、民間の分野の均衡を考慮して委員を選任する。

- 5 支部運営委員の職務は支部規程第9条の規定に基づく。
- 6 支部運営委員会の構成員の任期は支部規程第10条の規定に基づく。
- 7 支部運営委員会の議事は出席者の過半数をもっておこなう。

第7条（支部総会）

支部総会は支部規程第3条の支部規程に基づいて構成する。

- 2 支部総会は支部規程第4条に規定されている事項について決議する。
- 3 支部総会は支部規程第5条の規定に基づいて開催する。

第8条（経費）

この支部は学会本部経費（支部活動費）、支部大会参加費、その他により運営する。

- 2 支部活動における旅費については、学会旅費規定に基づき支給する。

第9条（補則）

この規則で特に明示していない事項は学会の定款、学会運営規定、支部規程に準拠する。

附 則

この支部運営規則は平成25年4月25日から実施する。

以上

公益社団法人 日本造園学会 関東支部運営規則（案）

案	備考
<p>(総則)</p> <p>第1条 (名称)</p> <p>この支部は公益社団法人日本造園学会関東支部（以下「支部」という。）という。</p>	
<p>第2条 (構成)</p> <p>この支部は公益社団法人日本造園学会（以下「学会」という）の、学会運営に関する規定（以下「学会運営規程」という）第11条および同第17条の規定に基づいて構成する。</p>	<p>第11条 (支部への所属) 会員は原則として次の区分により当該支部に属する。 (1) 個人（在職者）：勤務先所在地 (2) 個人（非在職者）：現住所 (3) 個人（学生）：学校所在地 (4) 法人：当該事務所所在地 (5) 海外居住者は支部に属さない 2. 支部の統括する都道府県の範囲は、この規程の第17条各号に示すとおりとする。</p> <p>第17条 (支部の設置) 支部の構成、名称および都道府県の範囲はつぎのとおりとする。 (1) 北海道支部：北海道 (2) 東北支部：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 (3) 関東支部：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県 (4) 中部支部：長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 (5) 関西支部：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県 (6)九州支部：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県</p>
<p>第3条 (事務局)</p> <p>この支部の事務局は東京農業大学地域環境科学部造園科学科内におく。</p>	
<p>第4条 (目的・事業)</p> <p>この支部は、学会の支部規程（以下「支部規程」という）第2条に規定する目的及び事業に準じて事業を行う。</p>	<p>(目的と事業) 第2条 支部は、学会運営規程第16条の規定により、定款第4条第1項に規定する学会の事業を行う。</p> <p>第16条 (支部の目的) 支部は、この規程の第17条に示された都道府県の範囲において、この学会の目的達成のために必要な事業を行う。</p> <p>第4条 (事業)</p>

	<p>本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。</p> <p>(1)研究発表会，講演会，講習会，見学会および展覧会等の開催</p> <p>(2)機関誌および図書の刊行</p> <p>(3)調査および研究</p> <p>(4)学術および技術に係わる専門教育とその評価</p> <p>(5)関連諸団体との連絡および提携</p> <p>(6)業績および功勞の表彰ならびに奨励および援助</p> <p>(7)普及，啓発および提言</p> <p>(8)その他本会の目的を達成するために必要な事業</p>								
<p>第5条（支部運営委員会の構成）</p> <p>第4条の事業を行うにあたり、各種部会を設置することができる。</p>									
<p>第6条（支部運営委員会の構成）</p> <p>支部運営委員会は、支部規程第6条の規定に基づいて構成し、構成員は次の通りとする。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>支部長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>副支部長</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>会計担当委員</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>30名以内</td> </tr> </table> <p>2 支部長は支部規程第4条第2項および同第8条第1項の規定に基づいて選任する。</p> <p>3 支部長は、学術、行政、民間の分野の均衡を考慮して副支部長を選任する。</p> <p>4 支部長は、原則として支部に属する会員への公募を行い、かつ学術、行政、民間の分野の均衡を考慮して委員を選任する。</p> <p>5 支部運営委員の職務は支部規程第9条の規定に基づく。</p> <p>6 支部運営委員会構成員の任期は支部規程第10条の規定に基づく。</p>	支部長	1名	副支部長	若干名	会計担当委員	1名	委員	30名以内	<p>（支部運営委員会の構成）第6条</p> <p>各支部には、支部運営委員会を設置する。</p> <p>2 支部運営委員会は、学会運営規程第11条に規定する各支部に属する会員のうち、正会員をもって構成する。</p> <p>3 支部運営委員会の構成員は次のとおりとする。</p> <p>(1)支部長 1名</p> <p>(2)副支部長 若干名</p> <p>(3)会計担当委員 1名</p> <p>(4)委員 30名以内</p> <p>（支部総会の決議事項）第4条</p> <p>支部総会は、次の事項について承認する。</p> <p>(1) 支部の運営に必要な規則等の制定及び改定</p> <p>(2) 理事会に推薦する支部長候補者の選出</p> <p>（支部運営委員会構成員の選任）第8条</p> <p>支部長は、支部から推薦された候補者を、理事会において選任する。</p> <p>（支部運営委員会構成員の職務）第9条</p> <p>支部長は、学会運営規程第18条第3項の規定により、支部を代表し、支部の業務を総括する。</p> <p>2 副支部長は、支部長を補佐し、必要に応じて支部長の職務を代行する。</p> <p>3 会計担当委員は、支部の会計にかかわる書類の作成及び保管を行う。</p> <p>4 委員は、支部における活動の推進と運営に係わる業務に従事する。</p> <p>（支部運営委員会構成員の任期）第10条</p> <p>支部運営委員会構成員の任期は、原則として2年とする。ただし、再任を妨げない。</p>
支部長	1名								
副支部長	若干名								
会計担当委員	1名								
委員	30名以内								

<p>7 支部運営委員会議事は出席者の過半数をもっておこなう。</p>	
<p>第7条（支部総会）</p> <p>支部総会は支部規程第3条の支部規程に基づいて構成する。</p> <p>2 支部総会は支部規程第4条に規定されている事項について決議する。</p> <p>3 支部総会は支部規程第5条の規定に基づいて開催する。</p>	<p>（支部総会の構成）第3条 各支部の支部総会は、学会運営規程第11条に規定する各支部に属する会員のうち、正会員をもって構成する。</p> <p>（支部総会の決議事項）第4条 支部総会は、次の事項について承認する。 (1) 支部の運営に必要な規則等の制定及び改定 (2) 理事会に推薦する支部長候補者の選出 (3) その他支部の活動及び運営に関する重要な事項</p> <p>（支部総会の開催）第5条 支部総会は、定時支部総会及び臨時支部総会の2種とする。 2 定時支部総会は、毎年1回、支部長が招集し、開催する。また臨時支部総会は、必要に応じて開催することができる。</p>
<p>第8条（経費）</p> <p>この支部は学会本部経費（支部活動費）、支部大会参加費、その他により運営する。</p> <p>2 支部活動における旅費については、学会旅費規定に基づき支給する。</p>	
<p>第9条（補則）</p> <p>この規則で特に明示していない事項は学会の定款、学会運営規定、支部規程に準拠する。</p>	

：学会運営規程の条文

：支部規程の条文

■ 報告事項

1. 支部役員の役職変更

平成25年度 日本造園学会関東支部 支部運営規則制定に伴う役職変更(案)		
氏名	新役職	旧役職
小木 曾 裕	支部長	支部長
戸田 芳樹	副支部長	副支部長
濱野 周泰	副支部長	副支部長
古谷 勝則	副支部長	副支部長
町田 誠	副支部長	副支部長
阿部 伸太	委員	幹事
池口 仁	委員	幹事
石井 匡志	委員	幹事
伊藤 弘	委員	幹事
大橋 尚美	委員	幹事
押田 佳子	委員	幹事
金子 隆行	委員	幹事
菅野 博貢	委員	幹事
清田 秀雄	委員	幹事
黒田 乃生	委員	幹事
小島 和夫	委員	幹事
小松 秀次	委員	幹事
近藤 卓	委員	幹事
島田 知幸	委員	幹事
霜田 亮祐	委員	幹事
高橋 靖一郎	委員	幹事
高橋 俊守	委員	幹事
津久井 敦士	委員	幹事
一言 太郎	委員	幹事
平松 玲治	委員	幹事
森戸 淳平	委員	幹事
栗野 隆	会計担当委員	幹事・事務局
木下 剛	委員	幹事・事務局
國井 洋一	委員	幹事・事務局
高橋 輝昌	委員	幹事・事務局
内藤 英四郎	委員(監査担当)	監事
葉山 嘉一	委員(監査担当)	監事

公益社団法人日本造園学会関東支部

平成 24 年度支部総会 資料

平成 25 年 4 月 25 日(木)

1. 平成 24 年度活動報告
2. 平成 24 年度支部大会報告
3. 平成 24 年度幹事会議事録 (第 1 回～第 6 回)

関東支部

支 部 長	小木曾 裕						
副支部長	戸田 芳樹	濱野 周泰	古谷 勝則	町田 誠			
幹事・事務局	栗野 隆	木下 剛	國井 洋一	高橋 輝昌			
幹 事	阿部 伸太	池口 仁	石井 匡志	伊藤 弘	大橋 尚美	押田 佳子	
	金子 隆行	菅野 博貢	清田 秀雄	黒田 乃生	小島 和夫	小松 秀次	
	近藤 卓	島田 知幸	霜田 亮祐	高橋靖一郎	高橋 俊守	津久井敦士	
	一言 太郎	平松 玲治	森戸 淳平				
監 事	内藤英四郎	葉山 嘉一					
顧 問	赤坂 信	池尻あき子					
開催回数	幹事会6回	総会1回					

活動報告 8月には全国の支部と協力し、学生デザインワークショップを福島県石川郡石川町を対象地として開催した。11月23日から24日にかけて茨城県つくば市において、支部大会を開催した。1日目にはつくば市内の現地見学会と現地セッション、2日目には筑波大学筑波キャンパスにて、事例・研究発表会、学生デザインワークショップ成果発表会、公開シンポジウム等を行った。その他、各部会活動の一環として見学会等を随時開催した。

(2) 関東支部大会

- ・開催日程 平成24年11月23日(金・祝)、24日(土)
- ・開催場所 11月23日：つくばセンター、筑波山梅林、北条地区等(茨城県つくば市)
24日：筑波大学筑波キャンパス(茨城県つくば市)
- ・参加者数 11月23日：32名 24日：165名
- ・大会内容

《現地見学会および現地セッション》

23日午前、つくばセンター周辺を(独)都市再生機構首都圏ニュータウン本部茨城事業本部関俊介リーダー、洞峰公園を筑波大学システム情報系村上暁信准教授の案内で見学した。また、札幌学院大学太田清澄教授に設計当時の様子をお聞きした。午後は筑波大学芸術系鈴木雅和教授が再生した筑波山梅林、および地震と竜巻の被害にあった北条地区を見学した。北条地区の見学においては、国の登録文化財である旧矢中邸と町並みを筑波大学大学院生嶋真史氏の案内で見学した。現地セッションは登録文化財である宮清大蔵で行った。宮清大蔵の当主の宮本孝氏にも参加していただき、太田氏、鈴木氏、嶋氏を交え質問や意見の交換を行った。

《事例・研究発表会》

口頭発表は近年最多の55件であり、24日9時30分から12時の間に6会場に分かれて開催した。ポスターセッションにおいては23件の発表があり、12時から13時までをコアタイムとした。自然公園・景観解析、緑地評価・緑地計画、農村計画・震災復興、歴史公園・文化遺産の保全、公園管理・団地の環境管理、植栽設計・植生管理・放射能の除染等に関する最新のプロジェクトおよび調査研究が紹介され、活発な意見交換が行われた。

昨年に引き続き、今年も優秀な口頭発表・ポスター発表を行った学生や若手の実務者に対して支部表彰を行った。ベストプレゼンテーション賞に須田曉憲氏(独立行政法人都市再生機構)が選定されたほか、プレゼンテーション奨励賞5氏、審査員特別賞3氏がそれぞれ選定された。

《学生デザインワークショップ成果発表会》

24日13時から15時までデザインワークショップ「原発の被害を受けた土地と向き合う」の成果発表会が開催された。ワークショップは、原発事故によって影響を受けた土地(風評被害等)として、あるいは周辺地域の後方支援の拠点として、福島県石川町のポテンシャルを活かした地域活性化のアイデアを考えるものとなった。首都圏の大学に在学する学生達が、ランドスケープデザインの実務者をチューターとして制作に取り組んだ成果が発表され、活発な意見交換が行われた。

《公開シンポジウム》

公開シンポジウムは「住み続けたつくば、住み続けられるつくば」と題して24日15時20分から17時20分まで行われた。古谷勝則副支部長の司会のもと、町田誠副支部長の挨拶に続いて、札幌学院大学の太田清澄教授が基調講演を行った。引き続き、筑波山梅林再生を行っている筑波大学の鈴木雅和教授、東海大学の田中伸彦教授、筑波大学大学院生の嶋真史氏、鹿島建設の山田順之氏の4名より話題提供があった。その後、コメンテーターの小木曾裕支部長からのコメント、戸田芳樹副支部長からの閉会の挨拶があった。

《交流会》

24日17時30分から交流会が開催され、参加者相互の交流と親睦を図った。参加者数はおよそ110名であった。

公益社団法人 日本造園学会 関東支部
平成24年度 第1回 幹事会 議事録

日時:平成24年5月16日(水) 18時40分～21時00分

場所:造園会館8階会議室

出席:小木曾裕(支部長)、戸田芳樹(副支部長)、阿部伸太、池口仁、石井匡志、大橋尚美、押田桂子、金子隆行、清田秀雄、小島和夫、小松秀次、島田知幸、霜田亮祐、高橋靖一郎、高橋俊守、津久井敦士、一言太郎、平松玲治、森戸淳平(以上、幹事)、木下剛、國井洋一(以上、幹事・事務局)、内藤英四郎、葉山嘉一(以上、監事)

欠席:鈴木直仁、濱野周泰、古谷勝則(以上、副支部長)、伊藤弘、菅野博貢、黒田乃生、近藤卓(以上、幹事)、栗野隆、高橋輝昌(以上、幹事・事務局)

議事:下記

議事録作成者:木下剛

報告事項

1. 平成23年度支部総会議事録確認

事務局の木下より、資料にもとづき報告があり、確認された。

2. 東日本大震災復興支援学生デザインワークショップ地元報告会

高橋幹事より、資料にもとづき報告があり、確認された。

3. 東日本大震災復興支援調査について

事務局の木下より、関東支部による関東地方被災地の第1次調査の実施概要について報告があり(資料あり)、確認された。なお、日本造園学会東日本大震災復興支援調査委員会が解散したことを受け、関東支部による第2次調査は実施しないことを確認した。

協議事項

1. 平成22・23年度日本造園学会関東支部役員

小木曾支部長より、資料にもとづき説明があり、副支部長4名、幹事25名(うち事務局4名)、監事2名について承認された。

2. 顧問について

小木曾支部長より、関東支部顧問について、現顧問の赤坂信元支部長に加えて、池尻あき子前支部長を加えた旨提案があり、承認された。

3. 平成24年度および25年度の支部大会の会場および企画

小木曾支部長、事務局の木下より、資料(平成24年度日本造園学会関東支部準備会議事録)にもとづき説明があり、協議の結果、筑波大学を会場候補とし、開催日について、第1候補を11月10日(土)～11日(日)、第2候補を11月24日(土)～25日(日)、第3候補を11月23日(金)～24日(土)として調整に入ることが承認された。

4. 部会活動について

小木曾支部長より、資料にもとづき説明があり、協議の結果、各幹事から出された部会活動に関する意向(別紙)を整理し、引き続きメールで意見を募集のうえ、第2回幹事会にて活動内容を検討することが了承された。公益法人化をふまえ、より公益的な活動を推進するための部会活動とする。

5. 第8回学生デザインワークショップ・サマースタジオ2012

霜田幹事より、資料にもとづき説明があり、協議の結果、案-2を基にメールで意見交換しながら内容を詰めることが了承された。6月に参加の募集案内を出す。

6. 学生デザインワークショップの予算措置について

高橋(靖)幹事より、資料にもとづき説明があり、協議の結果、実費全額を支部より支出することが了承された。

7. 関東支部創立30周年記念事業(平成25年)

小木曾支部長、事務局の木下より、資料にもとづき説明があり、協議の結果、第2回幹事会で企画案の検討を行うことが了承された。支部長と事務局のコアメンバーで企画案を作成してメール審議を進める。

8. 造園遺産インベントリー

事務局の木下より、資料にもとづき説明があり、関東支部がこれまで選定した造園遺産リストを全国版の書式に整理し、平成24年度日本造園学会全国大会時に開催予定のランドスケープ遺産インベントリー作成委員会に提出することが了承された。

9. 次回幹事会日程

平成24年7月18日(水) 18時30分～ 於:造園会館8階会議室(予定)の開催可能性について欠席の副支部長に打診する。

以上

公益社団法人 日本造園学会 関東支部

平成24年度 第2回 幹事会 議事録

日時：平成24年7月18日（水） 18時30分～20時30分

場所：造園会館8階会議室

出席：小木曾裕（支部長）

戸田芳樹、濱野周泰、古谷勝則、町田誠（以上、副支部長）

阿部伸太、池口仁、伊藤弘、石井匡志、大橋尚美、金子隆行、

菅野博貢、清田秀雄、小島和夫、小松秀次、近藤卓、島田知幸、

霜田亮祐、高橋靖一郎、一言太郎、平松玲治、森戸淳平（以上、幹事）

栗野隆、木下剛、國井洋一（以上、幹事・事務局）

内藤英四郎、葉山嘉一（以上、監事）

欠席：押田桂子、黒田乃生、高橋俊守、津久井敦士（以上、幹事）

高橋輝昌（幹事・事務局）

議事：下記

議事録作成者：木下剛

1. 報告事項

1) 第1回幹事会議事録確認

木下幹事・事務局より、資料にもとづき報告があり、確認された。

2) 支部役員の交替について

小木曾支部長、木下幹事・事務局より、資料にもとづき報告があり、確認された。新任の町田誠副支部長、近藤卓幹事より挨拶があった。

2. 協議事項

1) 造園遺産インベントリー

栗野幹事・事務局より、資料にもとづき提案があり、協議の結果、原案どおり承認された。第29回全国都市緑化フェアTOKYO（国営昭和記念公園会場）ランドスケープ遺産関連シンポジウム・パネル展示会出展用のデータについて、担当者は7月20日（金）までに提出することが確認された。

2) 平成24年度支部大会企画

小木曾支部長、古谷副支部長、木下幹事・事務局より、資料にもとづき説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。主たる了承事項は下記のとおり。

- ・ 平成24年度日本造園学会関東支部大会は平成24年11月23日（金）・24日（土）の日程で筑波大学筑波キャンパス体育・芸術エリアを主会場として実施する。

- ・ 11月23日（金）に現地見学会・現地セッションを実施する。11月24日（土）に事例・研究発表会、学生デザインワークショップ成果発表会、公開シンポジウム、交流会を実施する。
- ・ 幹事の役割分担（ただしコアメンバー）について暫定的に決定し（別紙参照）、今後さらに割り振りする。
- ・ 現地見学会のバス借用料は参加費に含める。
- ・ 事例・研究発表の原稿提出は10月末日を締め切りとする。
- ・ 支部役員は必ず一人一本、必ず研究・事例発表を行う。

また、今後の検討事項は以下のとおり。

- ・ 現地見学会用にUR都市機構（茨城地域支社）のマイクロバスを1台手配済み（運転手付き）だが、さらに手配するかどうか。
- ・ つくば市からバスを貸し切れないか。また、つくば市との共催の可能性。

3) 公開シンポジウム企画について

古谷副支部長より、資料にもとづき説明があり、協議の結果、概ね原案どおり承認されたが、以下の点について引き続き検討することが確認された。

- ・ 市民（グループ）の話題提供者を含める。市との共催の可能性。
- ・ 市職員のコメンテーターを含めたほうがよい。
- ・ つくば市の現状と課題に関するレビューの必要性（企画側または市側で整理するのがよい）。その際、ランドスケープの観点で説明していただく必要がある。

その他の意見は以下のとおり。

- ・ つくばエクスプレス関連の話題を盛り込む場合、沿線だけの話にならう配慮が必要である。
- ・ 花やまちおこしの市民活動グループが色々あるので声をかけてもよい。
- ・ 市外からの活動団体もいる。
- ・ 現地見学の候補として、霞ヶ浦やつくば道など。

4) 第8回学生デザインワークショップ

霜田幹事より、資料にもとづき説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。主たる承認事項は以下のとおり。

- ・ テーマは「原発の被害を受けた土地と向き合う」
- ・ 平成24年8月17日（金）～8月19日（日）の日程で、福島県石川町にて実施。
- ・ 造園学会東北支部の協力、福島県石川町との共催という位置づけ。
- ・ 地元の高中生や一般の方々の参加も仰ぐ。

その他の意見、今後の検討事項は以下のとおり。

- ・ チューターの謝礼以外では、参加学生の交通費のサポートが欲しい。
- ・ ワークショップ後、東北支部大会（10月・郡山）で合同プレゼン案も出ている。
- ・ 関東支部大会にも東北支部会員に来ていただきたい。
- ・ メディアを効果的に使う。
- ・ ワークショップ後の町との関わりも考えるべき。

- ・ 学生ワークショップは部会活動としてサポートして欲しい。

5) 部会活動について

今後の部会活動のあり方について自由討議を行った。役員個々人の興味や関心をベースに部会活動のあり方について引き続き議論していくことになった。出された意見は以下のとおり。

- ・ 公園の量は増えたが資産価値が増えているのか不安で実感できない。管理ががんじがらめで柔らかいしくみが必要である。人のいない公園は無駄だという意見にどう立ち向かうか（町田副支部長）
- ・ 外から造園学会を見られる機会をつくりたい。他分野の人とランドスケープデザインを語るイベントをシリーズ化してはどうか（近藤幹事）
- ・ 事例をみる見学会を企画したい（小松幹事）

6) 幹事の研究や仕事を知る

支部長提案により、毎回の幹事会にて幹事による自身の活動紹介を行うことになり、初回のこの日は阿部幹事より、風致地区研究、パリ市の公園緑地事情、木更津市の緑の基本計画等について、資料にもとづき紹介があった。

9月以降の担当者についても、別紙のとおり決定した。

7) 関東支部創立30周年記念事業

事務局・幹事がフレーム（担当者の人選を含む）を考えることとなった。

8) 次回会場について

5大学（東農大、千葉大、日大、明治大、東大）が2年に1回まわってきて、あとは地方大学が関わるようにする。

9) 次回（第3回）幹事会について

9月25日（火）18時30分より、造園会館8階会議室を予定。

以上

公益社団法人日本造園学会関東支部

平成24年度第3回幹事会議事録

日時：平成24年9月25日（火）18時30分～21時00分。

出席：小木曾裕（支部長）、戸田芳樹、古谷勝則（以上、副支部長）、阿部伸太、大橋尚美、金子隆行、清田秀雄、黒田乃生、小島和夫、小松秀次、島田知幸、津久井敦士、一言太郎、（以上、幹事）、栗野隆、木下剛（以上、幹事・事務局）、内藤英四郎、葉山嘉一（以上、監事）

欠席：濱野周泰、町田誠（以上、副支部長）、

池口仁、石井匡志、伊藤弘、押田佳子、菅野博貢、近藤卓、霜田亮祐、高橋靖一郎、高橋俊守、平松玲治、森戸淳平（以上、幹事）、國井洋一、高橋輝昌（幹事・事務局）

議事：下記

議事録作成者：木下剛

1. 報告事項

1) 第2回幹事会議事録確認

木下幹事・事務局より資料にもとづき報告があり、確認された。

2) 支部会議・理事会報告

小木曾支部長より資料にもとづき報告があり、確認された。

3) 前回幹事会以降の活動

木下幹事・事務局より資料にもとづき報告があり、確認された。福島県石川町にて学生デザインワークショップサマースタジオ2012（8月17～19日）、同中間発表をハンマーヘッドスタジオにて（9月16日）、筑波大学にて関東支部大会企画の打合せ（8月21日）など。学生デザインワークショップについて、途中成果のデータを幹事間で共有することが確認された。

2. 協議事項

1) 支部規程の改訂について

小木曾支部長より資料にもとづき説明があり、協議の結果、以下のとおり承認された。公益法人化に伴い、学会本部より「支部規程」及び「支部運営規則」の改訂を求められている件（12月理事会で支部規程案を承認、次年度4月1日より発効の予定）で、支部の中でコアメンバーを決めて検討する。規程に対して意見があれば出す。また、「支部規程」をふまえて「支部運営規則」を制定する。顧問の扱いをどうするか議論が必要である。

2) 造園遺産インベントリー

栗野幹事・事務局より資料にもとづき説明があり、協議の結果、以下のとおり承認された。昭和記念公園で緑化フェアのプログラムのひとつとして行うランドスケープ遺産パネル展示の「地域のランドスケープ遺産の概要説明」（400字程度）について、フェア終了後も常設展示されることから、「今年度関東支部大会（平成24年11月23～24日）が開催される筑波大学に因み、茨城のランドスケープ遺産を紹介します。」なる文言は削除する。

3) 学生デザインワークショップ

木下幹事・事務局（霜田幹事の代理）、阿部幹事より資料にもとづき提案があり、協議の結果、以下のとおり

対応することとなった。

・WSに係る経費計上の件について、支部の今年度予算案（WS 予算枠は支部テーマ事業費として30万円、記念誌作成費として10万円が総会にて承認済み）の中での整理がまずは必要。次回幹事会で改めて審議。WSへの経費計上にあたっては、現地での中間報告会と最終報告会を最優先すべきで、これらが当初 予算枠のなかで工面できるかどうかをまずは検討する。そのうえで、それ以外に発生した経費について、当初予算の中で処理できれば処理するし、足りなければその時点で対策を考えるという順序。高橋(靖)幹事他が個人的に立て替えている諸経費については早急に支部より支出する。

・機動的な対応が必要な諸活動、また、新たな予算計上を伴う可能性がある活動について、支部の中でいかにオーソライズしていくかが今後の課題。この問題はWSに限らない問題であり、5)部会活動にて検討した。

・平成24年10月13日、東北支部大会にてWSの展示・発表を行う。

・平成24年10月27日、28日、関西支部大会にてWSの一部成果の展示・発表を行う。

・平成24年12月16日、福島県石川町にて現地報告会を行う。

4)平成24年度支部大会企画

島田幹事より、UR都市機構に協賛の可能性を打診する件について報告があり、協議の結果、承認された。黒田幹事より資料にもとづき説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。今後の対応事項は以下のとおり。

・ポスター発表のイレパネ等は当日発表者が持参する（郵送不可）。

・見学会・交流会の人数を事前に把握する必要があるため、支部のウェブサイトで申込み募るほか、事例・研究発表会登録者にメールで通知し申し込んでもらう。

・見学会参加費は会員1500円、非会員2,000円、学生1,000円とする。

・交流会参加費は一般4,000円、学生2,000円とする。

・見学会の貸し切りバスについては、料金を勘案して引き続き検討する。

古谷副支部長より資料にもとづき説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。今後の対応は以下のとおり。

・話題提供者にはペーパーを用意してもらう。

・コメンテーター（小木曾支部長）はまとめた内容とする。

・支部長名で沼達氏を御招待する。

5)部会活動について

今後の進め方について協議した結果、各部会の活動に係る情報伝達共有と活動費用の支出を視野に入れ、支部の例会という位置づけにして見学会や勉強会を2ヶ月に1回程度の頻度で行っていったらどうかという案が提起され、戸田副支部長・阿部幹事を中心にとりまとめと調整を行っていくこととなった。また、具体的な部会活動について以下のとおり提案があり承認された。

・栗野幹事・事務局より、造園遺産部会の設置について提案があった。今後、部会長、幹事（栗野、黒田、木下の各幹事を想定）、各都県の代表者、学生 補助スタッフを選定する。（資料あり）

・小松幹事より、施工技術部会の設置について提案があった。担当者案は石井 匡志、小島和夫、森戸淳平、小松秀次の各幹事。第1回施行現場見学会（二子玉川公園内日本庭園）を2013年1月に実施する予定。（資料あり）

・清田幹事より、初等教育の段階から子どもが造園（計画、施行、維持管理等）に触れる仕掛けを考えたい旨提案があった。（資料あり）

・一言幹事より、「つぎの100年を見据えた都市公園のあり方について」考えたい旨提案があった。（資料あり）

・その他、押田幹事より資料が提出されたが、ご本人欠席のため次回幹事会で 協議することとなった。

6) 関東支部創立 30 周年記念事業

阿部幹事より東京農業大学での開催が認められた旨の報告があり、協議の結果、次年度の支部大会および記念事業の会場を同大学とすることが承認された。 また、このことについて今年度の支部大会（筑波大学）にて発表する。

3. 幹事の活動紹介

金子幹事より、資料にもとづき紹介があった。1982 年の基本設計より携わっている立山町総合公園、全国 1 級造園施工管理技士の会（一造会）の活動についてご説明いただいた。

石井幹事は欠席のため次回以降とする。また、未決定だった津久井幹事は 5 月、内藤監事は来年 1 月にそれぞれご報告いただくことになった。

次回幹事会は、平成 24 年 11 月 7 日（水）18 時 30 分より、造園会館 8 階会議室にて開催する。

以上

公益社団法人 日本造園学会 関東支部
平成24年度 第4回 幹事会 議事録

日時：平成24年11月7日(水) 18時30分～21時

場所：造園会館8階会議室

出席：小木曾裕（支部長）、戸田芳樹（以上、副支部長）、

阿部伸太、池口仁、石井匡志、伊藤弘、大橋尚美、押田佳子、金子隆行、清田秀雄、黒田乃生、小島和夫、
小松秀次、近藤卓、島田知幸、

高橋靖一郎、津久井敦士、一言太郎、平松玲治、森戸淳平（以上、幹事）、

栗野隆、木下剛、國井洋一（以上、幹事・事務局）、

内藤英四郎、葉山嘉一（以上、監事）

欠席：濱野周泰、古谷勝則、町田誠（以上、副支部長）、菅野博貢、霜田亮祐、高橋俊守（以上、幹事）、高橋輝
昌（幹事・事務局）

議事：下記

議事録作成者：木下剛

1. 報告事項

1) 第3回幹事会議事録確認

木下幹事・事務局より資料にもとづき報告があり、確認された。

2) 前回幹事会以降の活動

小木曾支部長より日本造園建設業協会機関誌「広報日造協」に寄稿した支部活動紹介記事について報告があった。
また、平成24年10月31日に第1回支部規則検討会が開催されたことなどが報告され、確認された。

2. 協議事項

1) 支部規程の改訂

金子幹事より、支部のコアメンバーで協議した結果について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された（資料あり）。具体的には、造園学会本部より提示された日本造園学会支部規程（案）は、支部として特段見直す必要なし。また、日本造園学会旅費規程（案）の支給対象者（第2条）について、黒田幹事は支払い対象とする。支部独自の旅費規程をつくってはどうかという意見も出された。さらに、顧問について、規程上は置けないことになるが、他支部の動きをみて判断する。監事も同様。

2) 学会誌への支部活動報告

小木曾支部長よりランドスケープ研究76(4)掲載予定の報告記事の準備体制について提案があり、原案どおり承認された。紙面割り振りのうえ担当者に依頼する。平成24年12月末までに2頁にまとめる。

3) 学生デザインワークショップ

高橋幹事より福島県石川町での成果報告会の開催日程（平成24年12月16日）および開催プログラムについて提案があり、協議の結果、原案どおり承認された。（資料あり）

4) 平成24年度支部大会

黒田幹事より実施概要について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。また、木下幹事・事務局より事例研究発表会のプログラムについて、古谷副支部長より公開シンポジウムの開催概要について、島田幹事より現地見学会の行程について、大橋幹事より交流会の運営についてそれぞれ説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。支部大会当日の幹事の役割分担については、事務局にて検討のうえ依頼することとなった。

5) 部会活動

阿部幹事より資料にもとづき説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。各部会は支部例会をアンカーとして活動し、例会に予算を配分する(来年度予算化)。

その他、押田幹事、内藤監事より部会活動案について提案があった。また、施工技術部会より現場見学会(常盤橋門跡石積み修復工事)について資料にもとづき提案があり、協議の結果、原案どおり承認された。

6) 関東支部創立30周年記念事業

栗野幹事・事務局より資料にもとづき説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。第1回委員会を平成24年12月中に開催する。

3. 幹事の活動紹介

戸田芳樹副支部長、石井匡志幹事、國井洋一幹事・事務局より資料にもとづき紹介があり意見交換が行われた。

次回幹事会 平成25年1月29日(火) 18時30分～20時30分

於 造園会館8階会議室(予定)

公益社団法人 日本造園学会 関東支部
平成24年度 第5回 幹事会 議事録

日時：平成25年1月29日(火) 18時30分～20時45分

場所：造園会館8階会議室

出席：戸田芳樹、濱野周泰、古谷勝則、町田誠（以上、副支部長）、阿部伸太、池口仁、石井匡志、伊藤弘、金子隆行、清田秀雄、小島和夫、小松秀次、島田知幸、高橋靖一郎、津久井敦士、平松玲治（以上、幹事）、國井洋一（幹事・事務局）、

欠席：小木曾裕（支部長）、大橋尚美、押田佳子、菅野博貢、黒田乃生、近藤卓、霜田亮祐、高橋俊守、一言太郎、森戸淳平（以上、幹事）、栗野隆、木下剛、高橋輝昌（以上、幹事・事務局）、内藤英四郎、葉山嘉一（以上、監事）

議事録作成：國井洋一

1. 報告事項

1) 第4回幹事会議事録確認

- ・ 國井より資料に基づき報告し、確認された。

2) 前回幹事会以降の活動

- ・ 小松幹事より施工技術部会の活動報告として、「常盤橋門跡石積み修復工事」現場見学会（11月30日）および「（仮称）世田谷区立二子玉川公園内日本庭園」現場見学会（1月12日）について、それぞれの開催が報告された。
- ・ 阿部幹事より、福島県石川町での学生デザインワークショップ現地報告会（12月16日）の開催が報告された。
- ・ 國井より、関東支部大会（11月23・24日）の開催について報告した。また、ランドスケープ研究76巻4号に支部活動報告記事として、支部大会開催報告が掲載されることを報告した。

3) 本部サーバの移行について（メーリングリスト変更等）

- ・ 國井より、学会本部のサーバ移行に伴う新HPの開設について報告した。それに伴い、関東支部においては役員メーリングリストのアドレスが変更されたこと、支部HPのサーバを本部の直下へ移転することを検討中であることを報告した。

2. 協議事項

1) 平成24年度支部大会の反省

- ・ 戸田副支部長の進行により、平成24年12月20日に行われた、支部30周年事業打ち合わせ会の際に挙げられた支部大会の反省点を踏まえ、意見交換が行われた。主な意見として以下が挙げられた。
 - ・ 大会直前のメーリングリスト乱用は混乱を招くので件名などで整理するべき。
 - ・ 発表数増加に伴うキャパの検討。
 - ・ 「事務局長」等の役付けによる指示系統の確立

- ・ 会場移動等を考慮した審査員・座長等の配役

それぞれの意見を踏まえて、平成25年度大会を準備・運営することで承認された。

2) 学生デザインワークショップの今後の展開

- ・ 具体案を含め、次回以降の幹事会にて協議することとした。

3) 関東支部創立30周年記念事業

- ・ 国井より、平成24年12月20日に行われた支部30周年事業打ち合わせ会の概略を説明した後、戸田副支部長の進行により、既出の事業案を踏まえて自由討論形式で意見交換が行われた。主な意見として以下が挙げられた。

- ・ 「2020年の東京」は、都でも施策として掲げているのでリンクできる。
- ・ 「30年経ったもの」の具体として、昭和記念公園や東京ディズニーランドが挙げられる。
- ・ 15～18歳程度の若年層をターゲットにしたシンポジウムなど。
- ・ 土木、建築など他分野でもランドスケープをどんどん使い始めているので、交流すべき。他団体との共催もあり。
- ・ あえて「関東支部30周年」をあまり表に出さずにイベント開催。
- ・ とにかく人だかりを作って盛り上げる。
- ・ 外向きと内向きのイベントを開催。

それぞれの意見を踏まえて、3月の幹事会までに大枠のフレームを作成し、今後の幹事会を通して実施案を固めていく方針とすることで承認された。

4) 部会活動

- ・ 小松幹事より、施工技術部会の次回現場見学会「首都高速道路大橋ジャンクション屋上庭園」（2月15日実施予定）について説明され、近日中にHPにおける告知および参加募集を開始することで承認された。
- ・ 阿部幹事より、「日比谷ランドスケープデザイン展2013（案）」について説明され、関東支部として後援および特別講評会における講師料の支出が提案され、承認については支部長および事務局に一任された。

5) その他

- ・ 古谷副支部長より、平成25年度全国大会（千葉大学）の大会運営について説明され、支部長および副支部長が大会運営委員となる案が示され、承認された。
- ・ 国井より、幹事会等の支部役員による会議の際の交通費を支部予算から支出する案が示され、承認された。後日、会計担当の栗野幹事・事務局より、交通費計算書のフォーマットがメール配信されることが確認された。

3. 幹事の活動紹介

町田副支部長、池口幹事、小松幹事より資料にもとづき紹介があり、意見交換が行われた。

4. 次回幹事会

平成25年3月18日、27日、28日を候補日とし、支部長および事務局との調整後に役員各位へ連絡周知することが確認された。なお、時間は18時30分～20時30分、場所は造園会館8階会議室を予定している。

以上

平成24年度 第6回 幹事会 議事録

日時：平成25年3月28日(木) 18時30分～21時50分

場所：造園会館8階会議室

出席：小木曾裕（支部長）、戸田芳樹、古谷勝則、町田誠（以上、副支部長）、阿部伸太、池口仁、大橋尚美、金子隆行、清田秀雄、小島和夫、
小松秀次、近藤卓、霜田亮祐、津久井敦士、森戸淳平（以上、幹事）、
栗野隆、木下剛、國井洋一（以上、幹事・事務局）、内藤英四郎、
葉山嘉一（以上、監事）

欠席：濱野周泰（副支部長）、石井匡志、伊藤弘、押田佳子、菅野博貢、

黒田乃生、島田知幸、高橋靖一郎、高橋俊守、一言太郎、平松玲治（以上、幹事）、高橋輝昌（以上、幹事・事務局）

議題：下記

議事録作成：國井洋一

1. 報告事項

1) 第5回幹事会議事録確認

- ・ 資料が提示され、確認された。

2. 協議事項

1) 平成24年度支部総会について

① 開催日時および場所

- ・ 幹事の予定を考慮して日程調整し、平成25年4月25日(木)19時より、造園会館8階会議室にて実施することで承認された。

② 総会議案

- ・ 栗野幹事より、平成24年度会計報告（案）が示され、総会資料として承認された。なお、公益法人化にともない交流会費を会計に含めることが不可能となったため、関東支部内に「交流会」という組織を設け、平成24年度支部大会における交流会費は、「交流会」内での会計処理とすることで承認された。
- ・ 栗野幹事より、平成25年度予算（案）が示された。予算（案）には学生デザインワークショップの活動が大きく関連するため、霜田幹事より平成25年度の活動予定について、阿部幹事より福島県石川町から研究助成金として¥700,000が補助される予定があることが、それぞれ説明された。研究助成金の扱いについては、栗野幹事が本部事務局に確認し、その結果を踏まえて予算（案）に修正を加えた上で総会資料とすることで承認された。
- ・ 木下幹事より、平成24年度事業報告（案）が示された。部会活動における各部会の名称や、各催しの実施日等の詳細を確認し、修正を加えた上で総会資料とすることで承認された。
- ・ 木下幹事より、平成25年度事業計画（案）が示され、総会資料として承認された。
- ・ 國井より、関東支部運営規則（案）が示され、役職等の表現を微修正した上で総会資料とすることで承認された。

- 國井より、支部運営規則制定に伴う役職変更（案）が示され、原案通り承認された。また、全国大会中に開催される本部総会での支部活動報告が示され、3月31日までに意見を踏まえた上で提出することで承認された。
- 2) 各部会活動について
- ① 施工技術部会
 - 小松幹事より、直近2回の見学会における報告が示された。
 - ② 造園遺産部会
 - 栗野幹事より、部会の主旨、活動、体制等が示され、承認された。また、平成24年度造園遺産選定候補（案）として部会より10候補が挙げられ、選定候補とすることで承認された。
 - ③ (仮称)教育部会
 - 阿部幹事より、デザイン部会との合同で日比谷ランドスケープデザイン展に関わっていること等が報告された。また、部会活動全般の位置づけについて説明され、明確な所属のすみ分けなどはしない方針とすることが確認された。
 - ④ (仮称)デザイン部会
 - 霜田・近藤両幹事より、学生デザインワークショップにおいての福島県石川町との関わりや、今後の予定等について説明された。
 - ⑤ (仮称)作品見学部会
 - 津久井幹事より、「神宮一丁目民活再生プロジェクト」見学会および意見交換会の企画案が示され、実施することで承認された。部会名については、暫定的に「作品見学部会」として活動を行っていくが、支部例会の開催等、今後の活動を通じて、決定もしくは変更することで了承された。
- 3) 平成25年度支部大会について
- ① 開催日程
 - 原案通り、10月26日(土)・27日(日)とすることで承認された。
 - ② 30周年記念事業
 - 國井より、記念事業案および研究発表・アワードの案について、これまでの議論における案をまとめて示した。記念事業については、各催しの担当者案を事務局で検討し、4月の総会后および5月の幹事会(支部運営委員会)にて具体的な方針を詰めていくことで承認された。
3. 幹事の活動紹介
- 古谷副支部長、大橋幹事より資料にもとづき紹介があり、意見交換が行われた。
4. その他
- 次回幹事会(支部運営委員会)は、平成25年5月30日(木)18時30分～20時30分、造園会館8階会議室にて開催する。

以上